

「いきいきサロン」(渋沢翁生誕の地「下手計」)にて公演(第65回)

2018.1.27

今回の公演は今迄の公演とは多少違い、地元すっきり参加？型で行われました。

ふる伝のA. Mさん宅が所属する地元自治会の「お楽しみ会」に余興としてお招きいただきました。

深谷では、各自治会事に民生委員さんが主体で、老人会とは別に2～3ヶ月に1回程度、講演会だったり音楽を聴いたり、遊んだり、会費制で地区のお年寄りが集まり楽しむ会を催しています。



渋沢栄一翁の生家のご近所ってということもあり、A. M宅には渋沢栄一翁の自筆の額やいろいろあり、芥川龍之介の生家か幼少の頃の住んでいた家とも？言われていると、A. Mさんが話したことがあります。

今回の公演場所は集会所。狭いのでこのA. Mさん宅で着替え、寒いので車で2分の集会所へ、ここは昔の養蚕部屋だったのか？古いすすけた柱で、改造をした珍しいほどの古い建物でした。

参加者は20名程度、お手伝い3～4名、駐在さん2名 熊谷座6名

1. 会長挨拶 2. 民生委員挨拶 続いて珍しい経歴の方がお話をされました。

JRに勤め最後は山手線何処かの駅長になり、運転一筋で、1枚の長い紙で上部は京浜東北の下部は山手線の一日の運航表(ダイヤグラム)が書いてありました。どこかで見たことがある市松模様の珍しい手書きのものでした。

次に八基^{やつもと}駐在さんの講話。県、市の交通事故状況、オレオレ詐欺の注意事項、空き巣の注意！喚起等のお話があり、いよいよ1時間の公演の始まり……ました。



座長挨拶に始まり、今回A. Mさんの紹介で話がまとまりましたので、いきがい大学の同級生である事など、座長の座員紹介も兼ねて、挨拶をしました。



基本の玉すだれ、先日横浜中華街で購入した大きな扇子、色も一人一人違い、最後に玉すだれを長く伸ばして左手で、バサッと5人が開き左右両手で盛り上げ圧巻の出来栄でした。

「きよしのズンドコ」、「ああ人生に涙あり」、「麦畑」と進みましたが、狭くて、私等はすぐ後ろに看板、ストーブがあり暑くて大変でした。でもこれが集会所のこじんまりした良さでもあります。



皆さん若い？方で、色々な声が飛び交い、楽しい、面白い、珍しい！！雰囲気の中で玉すだれは終了。



次に手品・・・いつも好評なのですが・・・今回はさんの十八番のコップで新聞紙に水を入れて、色水にしてコップに戻す・・・この時使用した新聞(種)をほしい、との希望が出ました。

Iさんは心優しい方なので、すぐお上げしました。でもさんも時々失敗をして水をこぼしているのです、成功するには・・・大変かな？

Kさんのいつもの紐の手品の他、指遊び手遊びも入り大成功でした。





続いてオカリナ……今回私が昨日の公演の最後にオカリナを落として割ってしまい、今日はNさん一人の演奏となってしまいました。彼女は実力もあるし、一人で「寒い朝」「花」と2曲を見事に吹き皆さんの大変感動を呼びました。



最後は、ご当地のリクエストのあった「鱧掬い」、さんは寒い中2度の衣装替えをして、万全で臨みました。

やはり昔の人？には絶対の人気の出し物でした。ご苦労様でした。



帰りはまたA. Mさん宅で着替えをして、手厚いお昼もお土産も頂き帰路につきました。皆さん寒い中、お世話になりました。

記： 難波 道子